

自由工房

■子どもたちの粘土開放日

今年度も、友の会より寄贈された土練機と1tを超える量の水粘土を使用し、少量での物作りとは違った感覚で粘土遊びを体験する会を実施した。親子での参加を基本とし、午前と午後の2つの時間帯を設けた。技術的指導はなし。年々、参加者が増加しており、何度も参加してくれる親子がいる一方で、毎回、新規の利用者も半数以上を占めることから、この事業が地域に根を下ろし、広がりを見せていることが感じられる。継続することで人々の意識に浸透し、良い結果を上げている例と言えよう。

この粘土開放日をはじめ、実技講座、粘土ワークショップで実技室ボランティアさんにお手伝いいただく場面が今年度も多数あった。平成12年度から呼びかけに応じていただいております、なくてはならない存在である。期 間＝毎月第4日曜日を基本とし本年度は計12回実施した。

講 師＝石上和弘（彫刻家）

助 手＝持塚三樹、富山竜一

場 所＝当館実技室

参加者数＝2,767名

■夏季自由工房イベント

絵の具開放日「大地に描こう・大空に描こう」

日 時＝平成17年8月9日・10日・11日・12日・

13日・14日

10:30～12:15

講 師＝奥中章人・三浦香織・志村てるみ

場 所＝当館実技室・屋外展示テラス

参加者数＝575名

自分の体よりはるかに大きなスペースに、のびのびと絵を描く喜びを感じてほしい。今年、初めて開催した「絵の具開放日」には、暑い時期であるにも関わらず、6日間で550人を超える参加者があった。「大地に描こう」は屋外展示テラスの縦横15mを越える石畳に、直接絵の具で大きな絵を描くプログラム。子どもだけでなく、親も一緒に自由な絵の具遊びの時間を楽しんだ。界面活性剤入りの絵の具を使用したため、終了後は水を撒くと簡単にきれいにすることができる。一方の「大空に描こう」は透明なビニールに絵を描き、実技室外の中庭に凧のように吊るして、下から見上げて鑑賞する。青空に、直接描いたような不思議な気分になるプログラムであった。天気に恵まれたため実施できなかった雨天企画「見えない絵を探そう。」も含めて、今後、様々な形で展開したいと考えている。



絵の具開放日「大地に描こう」

■自由工房イベント「モノプリントを作ろう！」

開 催 日＝8月21日

10:15～12:15

13:30～15:30

講 師＝常葉学園大学学生4名

場 所＝当館実技室

参加者数＝24名

夏休み中の親子向け自由工房イベントとして、専門実習中の常葉学園大学の学生によるイベント「モノプリントを作ろう！」が実施された。版画の原点ともいえる、スタンプすることの面白さを存分に楽しめる企画内容で、参加した子どもたちも大変満足そうな様子であった。それと同時に、指導した学生にとっても、またとない実習となったのではないだろうか。